

# 三保小学校 クロスカリキュラムによるESDのカリキュラムデザイン

## ①持続可能な開発のための教育（ESD）

「持続可能な開発のための教育」（ESD）とは「持続可能な社会」を実現していくための教育であり、自然と人間が調和し、人間と人間が協調し安定的な未来を形成していくための教育です。ESDの推進には環境教育、健康・安全教育、福祉教育、キャリア教育、食、国際理解教育との連携が求められ、例では横浜の「まち」の特色として「地域」を入れてあります。（図1参照）

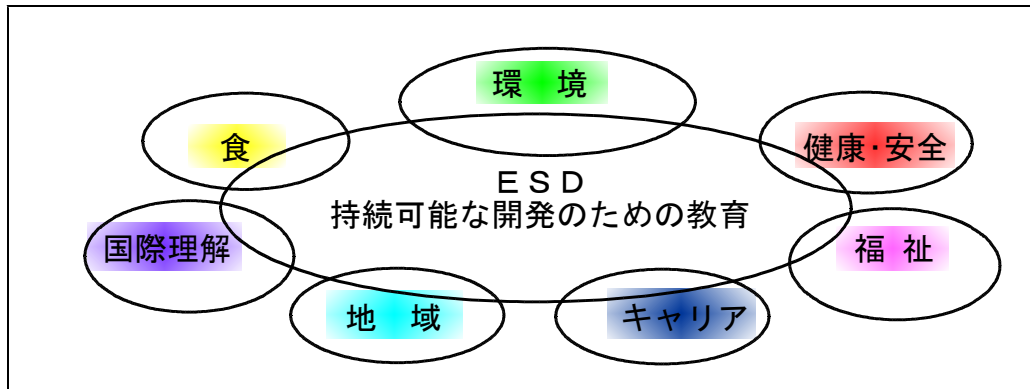


図1 ESD「持続可能な開発のための教育」の考え方の例（平成31年）

## ②クロスカリキュラムによるESDへの対応\*

各教科等の目標を横糸と考え、ESDの内容をクロスカリキュラムテーマとして縦糸と考えると、その交差したところに環境教育、健康・安全教育、福祉教育、キャリア教育等の学習指導が成立します。交差するすべての部分で学習が計画されるわけではなく、網を掛けた部分のように、教科等の内容に応じて選択されます。（図2参照）

	クロスカリキュラムテーマ						
	環境	健康安全	福祉	キャリア	国際理解	食	
国語	■	■	■	■	■	■	■
社会	■	■	■	■	■	■	■
算数	■	■	■	■	■	■	■
理科	■	■	■	■	■	■	■
生活	■	■	■	■	■	■	■
家庭	■	■	■	■	■	■	■
道徳	■	■	■	■	■	■	■
総合	■	■	■	■	■	■	■
特活	■	■	■	■	■	■	■

図2 クロスカリキュラムテーマと各教科等の関係例

## ③クロスカリキュラムの考え方の基本

- ・教科共通に指導する。（例：環境教育は全ての教科等で指導ができる。）
- ・子どもの発達段階に応じて、縦軸と横軸の中で指導する。
- ・新しい教育課題を教科等に導入することにより、教科等の学習も豊かになる。

\*参考：和泉良司、新「環境教育指導資料」と各学校での活用に向けてークロスカリキュラムによる教育課程への位置付けー 日本環境教育学会「環境教育」V01.17-2、2007

